

-209-

德商店

定吉本營員の職務
 金正尉の附氏は慶尚北道大邱より沿海海邊
 視察の爲め本日出發すべし
 公人私人
 長野實 獨城居留民連代 一昨夜上京
 知火旗 兵藤定靜(鐵道廳技師) 一昨夜歸任
 渋谷本吉(海州銀行支配人) 一昨夜大
 へ向け出發
 荒浪平次(東洋大學講師) 一昨夜出發
 近事片々

仁川 民間の議員諸氏の態度は退ふ
 とは異なるべし慎重の態度は全く慎重なら
 ▲最後の勝利とは何を意味する乎無論
 長官選令撤廢にあるべし然らば其終旋必
 ▲仁川 委員の副統監との面接は果して
 領を得たりや其結果を公然發表せらるゝ
 ▲宣達 令に對する相當の理由ありしか
 紙の述べたる如く自治の能力不
 ▲御用

目録さしき行動あるやを節目とするの外な
 ▲大博覧會も延期と決定したり金子會
 尾崎市長等の遺憾は嘘こそと觀察するや
 ▲氣遣いはれたる列國の意橋も米國大統
 及選選皇帝の回答に依り稍々安堵すべし
 ▲日本でも大問題なれ歐米列國の如
 は左程にもなましやとさほごに思やせし
 ▲金允植も東京出發して歸韓の途に
 好意始ての渡航如何に日本を觀察せし
 ▲帝任數月後太子愛子各國民の觀望せ

▲及通選 皇帝の回答に依り稍々安堵すべし
 ▲日本 どころ大問題なれ歐米列國のめ
 は左程にもなしさや、さほごに思やせし
 ▲金允 植も東京出發して歸韓の途に
 好意始ての渡航如何に日本を觀察せ
 ▲滞在 數月韓太子僑遇帝國民の眞意
 了解せしならん果して信賴の度を増せ
 ▲歸來 兩宮に參して其具聞を具に
 せば更に日本の好意を諒せらるるに要す

▲金允植も東京出發して歸韓の途に
り好翁始ての渡航如何に日本を觀察せ
▲滞在 數月韓太子處遇帝國民の眞意
了解せしならん果して信賴の度を増せ
▲歸來 兩宮に參して其具聞を具まに
せば更に日本の好意を諒せらるゝに至
▲天皇 帝日本觀光を思ひ起たせ玉ふ
早晩來るべしと一般の想像する所に
▲京都 大學總長も漸く決定する前に
大正學士博土河田也清も主きまはる

▲歸來 兩宮に參して其具聞を具したるに、
 ぜは更に日本の好意を諒せらるゝに至
 ▲天皇 帝日本觀光を思ひ起たせ玉ふ
 早晩來るべしとは一般の想像する所に
 ▲京都 大學總長も漸く決定すご前
 大理想學博士菊池大麓先生はなら大木
 ▲親任 官の待遇を給ふ總長教授連も
 はるまじ茲に始て京都大學も振起す
 ▲井上 侯病危篤どの事既に齡古稀を

早晩来るべしとは一般の想像する所に
 ▲京都 大學總長も漸く決定すところ
 大代理學博士菊池大先生はなら大丈
 ▲親任 官の待遇を給ふ總長授意す
 はるまじ茲に待て京都大學振起す
 ▲井上 侯病危篤との事既に船古稻を
 如何に姉妹壯なりと雖も或は回復期し
 ▲元老 中最も壯健なりと云はる井上
 此事有病軀を常に云はるし山縣候却て
 ▲島島 將軍久方振りにて氣鬱を吐す

はるまじ茲に於て京都大學も振起す

▲井上 侯病危篤との事既に齡古種を如何に孱弱壯なりと雖も或は回復期し

▲元老 中最も壯健なりと云はる井上

此事件有病軀を常に云はる山縣侯知て

▲島島 將軍久方振りにて氣煩を吐

財政整理を許して橋角殺牛の嫌あり

▲更に 外交を爲顛倒して足利満

奇略を弄するものゝもなしと痛快

▲長凡 事件の如き小事の爲に非

すから手前てまへの身みになつてゐる位氣いきになるか
知れやあしません何なんでも天井てんけいはベター一圓此
氣いきの彈丸だんがんがへバリついて白くなつてまいま
した。

朝鮮唯一の土産夏季滋養

購東京殿下御買上之藥
清國領事館御買上品
韓國京城總督府褒狀受領ス

滋養強壯人參飴

世界第一等の滋養品
牛乳錫卵に含める効能倍
元江津膏元 井口順天堂藥房

本島は滋養料として東洋第一と稱せしめ、純良なる朝鮮人參を以て精製したるものにて朝鮮唯一の御土産品として精製したるものには殊に夏季の強壯劑として頗る功効あるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ

○特約販賣は京城、釜山、仁川、平壤、四城、龍山、旅順、元山及び各地有各藥舖貨店に於てす最貴御買求を乞

京城本町二丁目電話一九九番）
井口大藥屋
京成大阪飯店
青龜屋（本支）
木庄常

謹啓時下殘暑の候に御座候處御華客様益御清穉に涉らせられ
 以來一方ならず御引立を蒙り日増し繁榮に趣き候段奉深謝候
 通業務一切を野村吉三郎氏へ譲渡し候間向後も拙者同様御引
 追て仁川原金旅館とは従前の關係はなきものご御承知願上

支店 元原金 支店主 原

南山町四丁目
長距離電話一〇七番
候段奉欣賀候降而拙者儀開業
就而は今般都合に依り前掲之
立被成下度奉懇願候頓首
田政吉

[illegible]

-212-